

# アースデイ@瀬戸内2007

～参加者の声～

2007/07/12 文責 松村

地球のことを改めて考えるということは、日常の暮らしの中では中々思うようにできません。何気なく日常を暮らしていた私たちもこのイベントに参加して真剣に地球や環境のことを考えるようになりました。子どもたちの未来は絶対に明るく平和でないとはいけません。空の青、山の緑、海の蒼がいつまでも透明な美しさを保てるように、私たちは努力しましょう。

(関西からいらしたキルト作家さん)

環境のイベントに自分が参加したことがなかったのでとても新鮮だった。自分自身の中の「動いてみよう」につながったし、本当に自分に出来ることはないかと考えるようになった。

個性的な方々の参加だったが、個性のあることが当たり前(ふつう)だと改めて感じた。

(ガイアシンフォニーを見ながら地球について話をしてきた女性)

スタッフの影響でマイ箸を持つようになりました。持つようになるとそれが当たり前になり心が気持ちいいですね。少しでも地球のためになってると思うと……。まだまだですが行動することを教えて下さったスタッフや参加者の皆様に感謝しています。

田中優さんの講演会を連れ合いと一緒に拝聴させていただきました。若い人が多数来られていたのは実行委員会の皆さんが若いせいでしょうか。これからの社会を担う人たちがこんなにも関心を持たれ、活動を始めていることに頼もしさ感じました。

この講演の内容は、まさに、「目から鱗」という感じで、あっという間の2時間だったように思います。あらゆる資料を使っての地球温暖化の現状、戦争が環境破壊の大きな元凶であること、そして、この地域で争点の一つになっている原発の問題点を取り上げながらの説明は説得力があり、行動力を喚起するようでもありました。最近は何のせいかわからない、講演会で夫婦そろって困らなくても眠ってしまうことが多いのですが、今回ばかりはそうはなりません。内容の良さなんでしょうね。

講演から帰る道すがら興奮して話していた連れ合いは、帰るなり早速冷蔵庫のカタログを手配して見えています。10年以上も大事に使っていた冷蔵庫の処分に踏ん切りがついたようです。また、省エネテーブルタップも購入したり、エアコンやトイレの便器などのコンセントを抜き始めました。あれもこれも、この講演効果というのでしょうか。ありがとうございました。

私は、「戦争をやめさせ環境破壊をくいとめる新しい社会のつくり方」を購入し、今読みながら読んでいます。私のできるのところから実践し、その体感したことを周りの人に伝えて行けたら少しでも社会が前進するのではないかと思います。お互いにそれぞれの持ち場でやれることから一つずつ積み上げていきましょう。

(英智郎)